

さくらホール感染症対策事業について

令和2年8月6日 議会全員協議会資料
まちづくり部生涯学習文化課



1 事業費

○1, 242千円

内訳	1. チケット販売用端末設置 …窓口にてiPad 3台	462千円
	2. キャッシュレス化等 …電子決済導入やコンビニ決済機能等追加 の初期費用と月額固定費	780千円

2 必要性・緊急性

○現在は窓口にある固定ディスプレイをお客様と至近距離で閲覧・説明しながら販売している。感染リスクを低減するため、お客様と距離を取りながら説明を行う必要がある。また、多様な来客に対応できるような環境整備が必要である。

○公演チケットや貸館利用料金を窓口で支払う場合は現金かクレジットカードでの支払いのみ、ホームページからチケット購入の場合は代金引換のみとなっている。窓口での接触回数、感染リスクを減らす必要がある。チケット購入方法や支払い方法を増やすことで新しい生活様式に対応する。

3 事業内容

○チケット販売用端末設置

- ・窓口にてチケット販売用のタブレット端末を新たに設置し、距離を取った対応ができる環境を整備する。
- ・多言語・聴覚障害者にも対応できるように設定する。

○キャッシュレス化等

- ・窓口で支払う時に、電子マネーやQRコード決済を可能にする。
- ・オンラインでもクレジットカード払いができるようにする。
- ・コンビニ決済機能を追加し、オンラインでの購入を促進する。
- ・チケット購入の利便性の向上を図る。

4 スケジュール

○チケット販売用端末設置

令和2年9月 購入、運用開始

○キャッシュレス化等

令和2年9月 システム開発業務委託

12月 運用開始